

防災祈念式典

災害に強い まちづくりを進めます



震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。市では、昨年3月11日に発生した東日本大震災を教訓として、災害に強いまちづくりを推進するため、3月10日、防災祈念式典を市民音楽ホールで開催しました。

東北地方を震源とした地震が発生し、信号機も停止、瓦やブロック塀の破損等（約6000件）、甚大な被害がありました。

市では災害に強いまちづくりを推進するため、防災祈念式典を開催し、坂東市防災支援連絡会議の設立や防災協定の締結を進めました。市民の皆様、一人ひとりの協力と助け合いが、大きな力となります。今後ともご協力をお願ひいたします。

は、日本観測史上最大規模のマグニチュード9・0、直後に沿岸一帯を大津波が襲い、福島県では原子力発電所の事故が発生するなど、未曾有の大災害となってしまいました。

坂東市においても、地震発生直後から市内各地で停電や断水が発生し、信号機も停止、各種団体など計49人により設立されました。会長には木村春男さんが就任し、設立宣言を行いました。

防災支援連絡会議を設立



▲橋本昌茨城県知事にも参加いただきました



▲会長に就任した木村春男さんが設立宣言をしました



▲緊急輸送に関する協定を締結しました

△緊急輸送に関する協定
前山倉庫株式会社、中山觀光自動車株式会社と締結



▲物資供給に関する協定を締結しました

△福祉避難所の開設に関する協定
社会福祉法人清風福祉会、社会福祉法人中川福祉会、社会福祉法人緑平会と締結



△インフラ復旧に関する協定
ばんどう建設業協会、坂東市岩井上下水道工事店組合、坂東市さしま上下水道工事店



▲福祉避難所の開設に関する協定を締結しました

井農業協同組合、利根コカ・コーラボトリング株式会社と締結

組合、東京電力株式会社龍ヶ崎支社、一般財団法人関東電気保安協会茨城事業本部と締結